

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 23 年度第 5 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 24 年 1 月 20 日 (金) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
★部長	安福 規之	○	★理事	小島 芳之	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	×	部員	長田 昌彦	×	部員	坂元 耕三	×
部員	西岡 英俊	×	部員	畠山 正則	○	部員	平井 貴雄	×
★部員	宮田 喜壽	×	★部員	吉嶺 充俊	×	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	○						

★：H20 年度新任 ○：出席予定 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席予定 △：未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-23.5.0	平成 23 年度 第 4 回基準部会議事録案
資料-23.5.1	JGS・JIS・ISO に関する検討資料（理事会報告素案）
資料-23.5.2	平成 24 年度活動計画書及び予算（第 2 次案）
資料-23.5.3	中長期ビジョンのアクションプラン進捗アンケート依頼書
資料-23.5.4	平成 24 年度事業計画「まえぶん」（案）作成依頼書
資料-23.5.5	「技能試験の実施」についての理事会報告結果資料
資料-23.5.6	理事会（11/30, 12/22）開催報告資料
資料-23.5.7	地盤工学表記法委員会報告資料 [12月14日議事録案]
資料-23.5.8	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [12月16日議事録案]
資料-23.5.9	会員からの質問の回答（地盤調査規格・基準委員会）
資料-23.5.10	
資料-23.5.11	
資料-23.5.12	
資料-23.5.13	
資料-23.5.14	
資料-23.5.15	
資料-23.5.16	
資料-23.5.17	
資料-23.5.18	
回覧資料	

1. 前回議事録の確認 (資料-23.5.0)

議事録を承認した。

2. 全体関係

(1) 日下部会長からの提案 継続審議 (資料-23.5.1)

理事会話題提供 ① JGS 基準の JIS 化の促進

小島理事より、理事会報告の素案について説明があった。これまでの部会での JGS 基準の JIS 化や ISO 対応、基準の英訳化についての検討経緯を示したものである。これに対し以下の指摘・意見があった。

- ・ ISO 整合化に関する方針については、実状を踏まえたものとなっているものの、宮田委員より指摘があったようにポジティブな理念を追記することが望ましい。
- ・ ISO 活動の具体的な実績をまとめて資料として示す。
- ・ 最新版の英訳した基準の公開方法に関する課題（課金の是非や方法）を追記する。

② 基礎設計・施工基準の促進

③ ISO 活動への資金獲得

④ CEN のアジア版組織の構想

⑤ HP 掲載内容の改訂について

(2) 平成 24 年度予算 (資料-23.5.2)

事務局より第 2 次案の第 1 次案からの変更点について説明があった。収支差を改善するための方策について、青本、グランドアンカー設計・施工基準、同解説の販促活動（講習会開催）について議論を行った。

議論の中で、「地盤調査の基本 手引き」も改訂が必要であり、WG 設置（H25 年 1 月）で対応することが確認された。

(3) 地盤工学会の ISO 規格への対応方針

① 基準の英訳化事業

(4) 中長期ビジョンのアクションプラン進捗アンケート (資料-23.5.3)

アンケートを後日事務局より送付するので、各委員会で該当する箇所に記入の上、事務局に提出することとなった（締切りは 2/20）。

(5) 平成 24 年度事業計画「まえぶん」(案) 作成 (資料-23.5.4)

事務局で作成した案を送付するので、各委員会で確認いただきたい。

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

(2) 地盤調査規格・基準委員会

(3) ISO 国内委員会

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 部員公募への応募 継続審議

4. ISO 国内委員会 関係

(1) 国際会議派遣

理事会報告 ① ISO/TC190/SC3 連絡会議 メール審議済

・派遣先：ドイツ・ベルリン

・出張者：坂井グループ・リーダー（J R 総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）— convenor、議長職）

・期 間：2011 年 12 月 21 日～12 月 24 日（出張期間は前後することがあります）

・理 由：日本（地盤工学会）は、ただいま ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導し、日本案件 4 件のうち 2 件（油分向け比濁検出法および陰イオン向けテスト・キット検出法）について、CD または NIWP への投票切替えの手続きをしています。このことについて、所属 SC である ISO/TC190/SC3 の連絡会議で調整をはかることになったため、関係委員を出張させるものです。

・費 用： 経済産業省支弁（重点 TC 指定）

②韓国標準局との調整会議（ISO/TC 190/SC 3/WG 10 関連） **メール審議済**

- ・派遣先：韓国・ソウル
- ・出張者：坂井グループ・リーダー（JR総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—convenor、議長職）
- ・期間：2011年12月26日～12月28日（出張期間は前後することがあります）
- ・理由：日本（地盤工学会）は、ただいまISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導し、日本案件4件のうち2件（油分向け比濁検出法および陰イオン向けテスト・キット検出法）について、CDまたはNIWPへの投票切替えの手続きしており、きんきん投票が実施される見込みです。このことと関連し、油分向け比濁検出法では、CD投票後に、韓国標準局が調製する標準試料を使用して認証試験をおこなうことになっていきます。ついては、認証試験の工程調整をはかるため、関係委員を出張させるものです。
- ・費用：経済産業省支弁（補助金充当）

③シアン化物イオン向けテスト・キット検出法に関する豪州標準局との協議

- ・派遣先：豪州・パース
- ・出張者：坂井グループ・リーダー（JR総研、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—convenor、議長職）
浅田グループ幹事（清水建設、ISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）—expert）
鈴木委員（柴田科学）
- ・期間：2012年2月12日～2月15日（出張期間は前後することがあります）
- ・理由：日本（地盤工学会）は、ただいまISO/TC 190/SC 3/WG 10（予備試験法）を主導し、日本案件4件のうち2件（油分向け比濁検出法およびクロム(VI)向けテスト・キット検出法）について、CDまたはNIWPへの投票切替えの手続きしており、きんきん投票が実施される見込みです。
このうち、クロム(VI)向けテスト・キット検出法は、シアン化物への転用が可能であるため、続行案として日本から提案する準備をしておりますが、シアン化物イオン汚染の問題を抱えている豪州が本件に強い関心を示しています。このことから、提案前に同国とは十分な調整をおこなっておき、提案後の審議運営を円滑におこなう必要が生じました。本件は、この協議に関係委員を出張させるものです。
- ・費用：本件は、坂井グループ・リーダーおよび浅田グループ幹事については経済産業省支弁の補助金充当、鈴木委員については、請願元（柴田科学）負担となっております。

委員の派遣を承認した。

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

特になし。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし。

9. 販売促進 WG

特になし。

10. 基準部所管刊行物

特になし。

11. その他

理事会報告 (1)「技能試験」の実施に関する検討

(資料-23.5.5)

技能試験の実施についての理事会報告(11/30)とその後の検討を踏まえて、基準部としての方針を議論した。学会における体制や試験実施のための支援機関が明確になっていないことが現状であることから、学会の事業として取り組むためには、学会としての体制を固めることが不可欠であり、そのための準備が必要である。次回理事会(1/27)に報告し意見をいただいた上で、3月の理事会で方針を示すものとする。

報告事項

1. 理事会（11月30日、12月22日（書面））開催報告 (資料-23.5.6)

2. 全体関係

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

理事会報告 ① 平成23年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・沿岸開発技術研究センター	×				
・土木学会	100万円		×		
・三菱総合研究所（回答作成）	50万円		○		
・三菱総合研究所（重点TC旅費）	135万円		○		
・日本土木工業協会	50万円		未定		
・日本規格協会	×				
・経済産業省		300万円	○		
・シーメンス・ヘルスケア		50万円			委託研究※1
小計	335万円	350万円	※1 委託研究は、WG10のグループ内で実施。委託費は、ISO対応活動費として使用		
合計	685万円				

(2) 地盤工学表記法委員会

① H23 第3回委員会（12月14日開催）報告 (資料-23.5.7)

(3) 室内試験規格・基準委員会

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① H23 第3回委員会（12月16日開催）報告 (資料-23.5.8)

青本の解説執筆の進捗状況について80%以上であるとの報告があった。青本の解説執筆では、会員からよくある質問内容を盛り込む方針であるとの報告があった。新規及び改訂基準への基準番号の付け替えについて議論をしているとの報告があった。

・岩関係5基準の小冊子の発刊

(1) JGS3721-2005 ボアホール・エクステンソメータによる岩盤内変位測定方法

(2) JGS3541-2009 埋設ひずみ法による初期地圧測定方法

(3) JGS3551-2009 円錐孔底ひずみ法による初期地圧測定方法

(4) JGS3722-2007 孔内傾斜計による地中変位測定方法

(旧名：ボアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法)

(5) JGS 3821-2006 岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法

小冊子の発刊は既に承認されている。事務局で早急に発刊するように努める。なお、(4)の基準については、一部に誤りが確認されたため、正誤表をつけることで対応する。

・地盤調査の方法と解説改訂版における「転載」の取纏め資料

転載許可願い提出一覧表を作成し、許可をもらえなく円滑に得るようにする。そのためのひな型が示された。

② 会員からの質問の回答 (資料-23.5.9)

砂置換による砂の密度試験、道路の平板載荷試験に関する質問とその回答が報告された。関連して、室内試験規格・基準委員会では、会員からよくある質問について、FAQを作成し、ホームページに公開することを検討しているとの報告があった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 販売促進 WG

(7) 英文HP

4. 日本工業標準調査会 土木部会

●H23年度 基準部関係委員会開催状況

委 員 会 名		委員会開催日，太字は次回開催日
基準部会	安福 規之	
ISO 国内委員会 ・WG1 ISO/TC182 対応 ・WG2 ISO/TC190 対応 TC190/SC3/WG10 対応 WG ・WG3 ISO/TC221 対応	大谷 順 木幡 行宏 平田 健正 (坂井宏行) 宮田 喜壽	
室内試験規格・基準委員会 ・WG1 物理特性 ・WG2 化学特性 ・WG3 透水・圧密特性 ・WG4 力学特性 ・WG5 安定化・締固め特性 ・WG6 ジオシンセティックス ・WG7 ベンダーエレメント試験基準化 ・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG ・WG12 動的試験基準検討 WG	古関 潤一 (小口秀俊) (乾 徹) (藤原照幸) (塚本良道) (阿部哲生) (椋木俊文) 山下 聡 安川 郁夫 伊藤 洋	
地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層 (第3編) ・WG2 ボーリング・サンプリング (第4,5編) ・WG3 地下水 (第7編) ・WG4 サウンディング (第6編) ・WG5 载荷試験 (第8編) ・WG6 現場密度試験 (第9編) ・WG7 現地計測 (第10編) ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング (第11編) ・WG9 地盤調査の計画，資料調査・地質調査 (第1,2編) ・WG10 地盤環境調査 (第12編)	谷 和夫 松島 潤 曾根田正俊 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝	
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平载荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	
地盤工学表記法 ・WG-A	岸田 隆夫	

5. その他

- 1) 理事会 (平成24年 1月 27日 (金) 開催予定) への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会 (平成 24 年 2 月 日 () 開催予定) への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
 - ・ 23 年度第 6 回：平成 24 年 3 月 7 日 (水) 14:30 時～
(対応理事会 H24.3.16)
 - ・ 24 年度第 1 回：平成 23 年 5 月 日 () 14:00 時～
(対応理事会 -)

☆ 平成 23 年度 理事会・運営連絡会議 開催日程 (予定含む)

◎理事会

○ 運営連絡会議

- ① 4月22日(金)
- ② 5月13日(金)
- ★ 6月10日(金) 総会/理事会
- ③ 6月24日(金) ※書面審議
- ④ 7月29日(金)
- ⑤ 9月30日(金)
- ⑥ 10月28日(金) ※書面審議
- ⑦ 11月30日(水)
- ⑧ 12月22日(木) ※書面審議
- ⑨ 1月27日(金)
- ⑩ 2月24日(金) ※書面審議
- ⑪ 3月16日(金)

-
- ⑫ 4月27日(金) ※書面審議
 - ⑬ 5月18日(金)
 - ★ 6月 日 () 総会/理事会